

2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2021年8月6日

上場会社名 住友精化株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4008 URL http://www.sumitomoseika.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 育三
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経理企画室長 (氏名) 町田 研一郎 (TEL) 06-6220-8515
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	25,960	△6.3	2,428	△29.5	2,443	△26.3	1,794	△23.6
2021年3月期第1四半期	27,697	12.5	3,443	85.1	3,316	133.7	2,349	143.4

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 1,817百万円(△32.3%) 2021年3月期第1四半期 2,685百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2022年3月期第1四半期	円 銭 130.09	円 銭 —
2021年3月期第1四半期	170.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2022年3月期第1四半期	百万円 110,961	百万円 76,619	% 66.5
2021年3月期	107,834	75,491	67.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 73,784百万円 2021年3月期 72,794百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2021年3月期	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 100.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	50.00	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	109,000	5.6	7,000	△30.7	7,000	△32.5	5,000	△29.8	362.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	13,972,970株	2021年3月期	13,972,970株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	180,899株	2021年3月期	180,899株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	13,792,071株	2021年3月期1Q	13,792,089株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 2
(1) 経営成績に関する説明	P 2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P 7
(継続企業の前提に関する注記)	P 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P 7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P 7
(会計方針の変更)	P 7
3. 第1四半期連結決算概要	P 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、個人消費を中心に弱さが続いているものの、輸出や設備投資には持ち直しの動きが見られました。海外経済も、同じく持ち直しの動きが見られましたが、感染の再拡大の影響が懸念される状況が続きました。

このような状況のもとで、当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上高は259億6千万円(前年同期比6.3%減)、営業利益は24億2千8百万円(前年同期比29.5%減)、経常利益は24億4千3百万円(前年同期比26.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億9千4百万円(前年同期比23.6%減)となりました。

また、1株当たり四半期純利益は130.09円、ROEは2.4%となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用したことに伴い、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の売上高は831百万円減少し、売上原価は638百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ193百万円減少しております。

セグメント別業績の概要は次のとおりであります。

(吸水性樹脂セグメント)

当セグメントでは、売上高は169億3百万円(前年同期比11.3%減)、営業利益は10億6千4百万円(前年同期比58.5%減)となりました。売上高は、前年同期において中国市場での販売数量が一時的に増加したため、減収となりました。営業利益は、販売数量の減少に加えて、原料価格が上昇したため、減益となりました。

(機能化学品セグメント)

当セグメントでは、売上高は50億円(前年同期比6.1%増)、営業利益は8億6千8百万円(前年同期比59.2%増)となりました。これは医薬中間体や、ラテックス製品、粉末樹脂の販売数量が増加したことなどによるものであります。

(ガス・エンジニアリングセグメント)

当セグメントでは、売上高は39億3千万円(前年同期比3.3%増)、営業利益は5億1千4百万円(前年同期比49.9%増)となりました。これはエレクトロニクスガスの販売数量が増加したことなどによるものであります。

(その他セグメント)

当社グループは上記事業のほか、人材派遣業務等を行っております。当セグメントでは、売上高は1億2千6百万円(前年同期比2.8%増)、営業損失は2千1百万円となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期(2021年4月1日～2022年3月31日)の連結業績予想につきましては、2021年5月13日に公表した予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後の様々な要因によって差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,657	26,513
受取手形及び売掛金	24,217	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	22,472
商品及び製品	13,241	16,417
仕掛品	400	295
原材料及び貯蔵品	2,827	3,277
その他	1,829	2,105
貸倒引当金	△9	△9
流動資産合計	68,164	71,073
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,474	14,324
機械装置及び運搬具（純額）	13,357	12,703
その他（純額）	6,942	7,957
有形固定資産合計	34,775	34,985
無形固定資産		
その他	233	246
無形固定資産合計	233	246
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	1,618	1,636
その他	3,053	3,030
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	4,661	4,656
固定資産合計	39,670	39,887
資産合計	107,834	110,961
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,841	12,780
短期借入金	10,674	10,918
未払法人税等	1,511	874
賞与引当金	851	445
その他	3,571	4,384
流動負債合計	27,451	29,403
固定負債		
長期借入金	2,934	2,931
退職給付に係る負債	1,508	1,585
その他	450	421
固定負債合計	4,892	4,938
負債合計	32,343	34,341

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,698	9,698
資本剰余金	7,539	7,539
利益剰余金	52,104	53,209
自己株式	△261	△261
株主資本合計	69,080	70,185
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	685	670
為替換算調整勘定	2,252	2,187
退職給付に係る調整累計額	776	742
その他の包括利益累計額合計	3,714	3,599
非支配株主持分	2,696	2,834
純資産合計	75,491	76,619
負債純資産合計	107,834	110,961

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	27,697	25,960
売上原価	20,483	19,661
売上総利益	7,214	6,298
販売費及び一般管理費		
発送運賃	1,168	1,294
従業員給料及び賞与	580	669
賞与引当金繰入額	141	133
退職給付費用	67	21
研究開発費	694	647
その他	1,118	1,104
販売費及び一般管理費合計	3,771	3,870
営業利益	3,443	2,428
営業外収益		
受取利息	29	20
受取配当金	25	25
為替差益	—	5
補助金収入	34	39
その他	14	18
営業外収益合計	103	109
営業外費用		
支払利息	52	69
為替差損	176	—
その他	0	24
営業外費用合計	229	94
経常利益	3,316	2,443
特別損失		
固定資産除却損	37	29
特別損失合計	37	29
税金等調整前四半期純利益	3,279	2,413
法人税等	829	593
四半期純利益	2,449	1,820
非支配株主に帰属する四半期純利益	100	25
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,349	1,794

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
四半期純利益	2,449	1,820
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	175	△15
為替換算調整勘定	68	46
退職給付に係る調整額	△8	△33
その他の包括利益合計	235	△2
四半期包括利益	2,685	1,817
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,606	1,679
非支配株主に係る四半期包括利益	78	137

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を繰延べております。

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、従来は、輸出版売においては主に船積時に収益を認識しておりましたが、主にインコタームズ等で定められた貿易条件に基づきリスク負担が顧客に移転した時に収益を認識することとしております。また、工事契約に関して、従来は、工事の進捗部分について成果の確実性が認められる場合には、工事進行基準によっておりましたが、財又はサービスに対する支配が顧客に一定の期間にわたり移転する場合には、財又はサービスを顧客に移転する履行義務を充足するにつれて、一定の期間にわたり収益を認識する方法に変更しております。履行義務の充足に係る進捗度の測定は、各報告期間の期末日までに発生した工事原価が、予想される工事原価の合計に占める割合に基づいて行っております。なお、契約における取引開始日から完全に履行義務を充足すると見込まれる時点までの期間がごく短い工事契約については代替的な取扱いを適用し、一定の期間にわたり収益を認識せず、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用していません。

この結果、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の売上高は831百万円減少し、売上原価は638百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ193百万円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 2022年3月期 第1四半期連結決算概要

2021年8月6日

住友精化株式会社

1. 業績

(単位:百万円)

	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	増 減	2022年3月期 (予想)
売 上 高	27,697	25,960	△ 1,737	109,000
営 業 利 益	3,443	2,428	△ 1,014	7,000
経 常 利 益	3,316	2,443	△ 872	7,000
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,349	1,794	△ 555	5,000
1株当たり四半期純利益	170円34銭	130円09銭	△40円25銭	362円53銭
自己資本四半期純利益率(ROE)	3.6%	2.4%	△1.2%	6.7%
平均為替レート(円/\$)	107.62	109.50	—	110.00
平均為替レート(円/元)	15.17	16.96	—	16.50
ナフサ価格(円/KL)	25,000	47,700	—	47,000

当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用したことに伴い、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の売上高は831百万円減少し、売上原価は638百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ193百万円減少しております。

2. セグメント別売上高・営業利益

(単位:百万円)

		2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	増 減	2022年3月期 (予想)
吸水性樹脂	売 上 高	19,056	16,903	△ 2,153	74,000
	営 業 利 益	2,563	1,064	△ 1,498	3,300
機能化学品	売 上 高	4,712	5,000	287	17,500
	営 業 利 益	545	868	323	1,800
ガス・エンジニアリング	売 上 高	3,806	3,930	123	17,000
	営 業 利 益	343	514	171	2,000
そ の 他	売 上 高	122	126	3	500
	営 業 利 益	△ 12	△ 21	△ 9	△ 100
消 去	売 上 高	—	—	—	—
	営 業 利 益	3	1	△ 1	—
合 計	売 上 高	27,697	25,960	△ 1,737	109,000
	営 業 利 益	3,443	2,428	△ 1,014	7,000

当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用したことに伴い、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の「吸水性樹脂」セグメントの売上高が720百万円、セグメント利益が143百万円、「機能化学品」セグメントの売上高が62百万円、セグメント利益が41百万円、「ガス・エンジニアリング」セグメントの売上高が48百万円、セグメント利益が7百万円、それぞれ減少しております。「その他」セグメントの売上高、セグメント損失は変更ありません。